

昭和61年度 別府大学英語・英文学会報告

昭和61年度英語・英文学会は、12月6日(土)、午前9時より午後1時まで3号館地下ホールにて行なわれた。開会に先立って、本学新理事長に就任された、西村駿一短期大学部・学長から激励のお言葉をいただいたが、その中で、先生は、われわれに21世紀に生きる国際人としての成長の必要性ということを強調された。引き続き、研究発表が下記のプログラム通り行なわれた。

(1) アメリカ・ホームステイ体験記

英語科1年 富成寛江

(2) ハワイ大学サマーセッションに参加して

英語科2年 長峰恭子

(3) A Study of Mark Twain's *The Adventures of Huckleberry Finn*

英文学科4年 竹之内賢光

(4) A Comparative Study of Japanese and English Proverbs

英文学科4年 斎藤欽一

(5) 国際青年の村 '86 に参加して

英文学科2年 古谷孝子

(6) Thirty Ways to Improve Your English

英語科講師 Sue Mohr

(7) Which English Should the Japanese Be Taught?

英文学科講師 Andrew Valentine

一昨年に比べて質疑応答がやや少なかったのは残念だが、量よりも質を旨として、例年よりも発表数を減らし、時間を短縮したために、ピリッとしたしまりのある学会となった。さらにMohr先生とValentine先生が、日本人にとっての英語上達法をそれぞれ違った角度から提言して下さり、非常に有益であった。